

くしろ



普及センター
ホームページ



★写真
①：秋に撮影されたシカの群れ
②：鉄柵設置の様子
③④：設置した自動撮影カメラと鉄柵
⑤：根釧酪農新技術発表会

＜スマート農業技術活用＞自動撮影カメラで草地のシカ食害を調査

厚岸町若松地区において牧草地の食害を確認するために収量損失とシカ出現頻度を調査しました。調査の結果、1番草で44%、2番草で34%の収量損失を確認しました。また、自動撮影カメラを用いた出現頻度調査から、各番草収穫後と秋～冬期にかけての出現頻度が高く、シカ食害が当年のみならず翌年の草地植生・収量に悪影響を与えることが推察できました。

結果は、酪農試験場で開催された根釧酪農新技術発表会で農業者や各関係機関へ報告しました。

	所在地	電話・FAX	Eメールアドレス
釧路農業改良普及センター本所	〒088-2313 川上郡標茶町常盤8丁目5番地	Tel:015-485-2514 Fax:015-485-2249	kusirokita-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp
釧路東部支所	〒088-1365 厚岸郡浜中町茶内橋北東31番地	Tel:0153-65-2021 Fax:0153-65-2037	kushiroto-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp
釧路中西部支所	〒084-0917 釧路市大楽毛127番地	Tel:0154-57-8306 Fax:0154-57-4702	kushirochu-nokai.11 @pref.hokkaido.lg.jp

ホームページアドレス: <https://www.kushiro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc>

重点活動の紹介（東部支所）

3年目を迎える重点普及活動

当支所の厚岸町若松・糸魚沢地域における活動は、令和5年が5カ年計画の折り返し地点となります。令和5年3月16日に地域懇談会を開催し、農業者の方々と、本年の活動内容を取り決めました。

「自給飼料生産技術の改善」については、令和4年に実施した草地植生・収量調査および草地管理アンケートの結果より、雑草対策の重要性が確認されました。そこで、適正な除草剤の使い方についての研修会と実証展示ほ

場の設置を実施します。

「飼養管理技術の改善」については、令和4年までのほ育牛、育成牛および乾乳牛の飼養管理改善に加えて、泌乳牛の飼養管理改善に取り組みます。

JA釧路太田や関係機関と連携して取組を推進し、若松・糸魚沢地域の「自給飼料の安定確保」「飼養管理の改善による生乳生産性向上」を目指します。



農業者と関係機関職員が出席した地域懇談会の様子

地域の話（中西部支所）

青年農業者組織 活動再開！

コロナ禍で自粛を余儀なくされてきた青年農業者組織の活動が、徐々に再開しています。

鶴居村農友会では、3月に視察研修を行いました。1日目は「民族共生象徴空間ウポイ」にてアイヌ文化を学びました。2日目は「ジェネティクス北海道」でSNSを活用した精液販売の広報活動事例や黒毛和牛の育種について、「株式会社十勝加藤牧場（帯広市）」でジャージー牛乳の6次産業化について学びました。

白糠町4Hクラブでは、2月と3月に視察

研修を行いました。管内の北海道農業士の農場やクラブ員の農場を視察し、繁殖管理や搾乳手順、肉牛の飼養管理などについて学びました。

両組織ともに視察研修を通して、新加入のクラブ員との交流や活発な意見交換が行われました。

普及センターは今後も地域の未来を担う、若手農業者に対する支援を行っていきます。



鶴居村農友会は(株)十勝加藤牧場を視察



白糠町4Hクラブはクラブ員農場を視察

屋外のカーフハッチで子牛を飼養している場合、暑熱下でハッチ内部が暑くならないように、様々な工夫が必要です。今回は遮断熱シートを使って、カーフハッチ内の子牛の暑熱対策をしている事例を紹介します。



この牧場では、屋外に木製のカーフハッチを並べて使っていて、夏場は屋根からの熱気でカーフハッチ内も暑くなっていました。

それを解決するために・・・
獣医師から教えてもらった遮断熱シート
を使ってみることに

使用している遮断熱シート
商品名 SDN-Sheet (SDN-SS)
規格 長さ50m×幅1.2m×厚さ3mm
片面アルミ素材
価格 約24,000円（税・送料別）



カーフハッチの後方3分の2を覆うようにシートが設置されました。



子牛はシートで覆われて涼しい後方で快適に過ごしています。

牧場主の声

- 軽くて薄い素材なので設置が楽で、好きな大きさにカットできるのが良い。
- 破れるまで繰り返し使えるので、コストパフォーマンスに優れている。
- シートで覆った部分と覆ってない部分の温度が違う（手で屋根の裏を触っての体感）。

令和5年度 普及センターの職員紹介

令和5年4月1日現在



▶ 本所地域係
後列左より：鴨川、丸山、米田
前列左より：田村、北山、藤田、田川



▶ 東部支所地域係
後列左より：芦澤、後藤、池田
前列左より：中村、松本、橋本



▶ 中西部支所地域係
後列左より：喜多村、寺井、村上、下條、高橋
前列左より：高瀬、水上、武井、市村、成田



▶ 本所広域担当
後列左より：木村、小泉、森、田川
前列左より：角川、齊藤、阿部

普及活動の体制

齊 藤 所 長	本 所	北 山 次 長	釧路町 標茶町 弟子屈町	藤 田 地域係長 田 村 主査 (地域支援) 田 川 主査 (広域畑作)	米 田 専門主任 丸 山 専門普及指導員 鴨 川 普及職員	
	東 部 支 所	松 本 支 所 長	厚岸町 浜中町	中 村 地域係長	後 藤 専門普及指導員 池 田 普及指導員	芦 澤 普及職員 橋 本 普及職員
	中 西 部 支 所	武 井 支 所 長	釧路市 鶴居村 白糠町	市 村 地域係長 水 上 主査 (地域支援) 成 田 専門普及指導員	高 橋 専門普及指導員 高 瀬 専門普及指導員 喜多村 普及指導員	下 條 普及職員 村 上 普及職員 寺 井 主事 (非常勤)
	広 域	角 川 主任普及指導員 ※	阿 部 主任普及指導員 ※	担い手 高付加価値化 情報・クリーン・有機 畑作	小 泉 主査 木 村 主査 森 主査 田 川 主査	

(※印は農業革新支援専門員)

農繁期もゆとりを持った作業計画を立て、農作業事故を防ぎましょう